



私たちの暮らしからプラスチックごみを考える

教科[社会・総合] 学年[小4～中高生] 授業時間[60～120分]

実施場所[西部清掃工場、各学校]



内容

①ごみ拾い調査と分別体験（グループワーク）

・ごみの写真を見ながら、自分たちの街のどこでどんなごみが見つかるのか、マップを作成します。なぜその場所にごみが落ちているのかを考え、ごみが落ちていない場所にする工夫を考えます。

②海洋プラスチック採取体験（グループワーク）

・用意した浜砂からプラスチックを探し、種類別・色別に分けて個数を数えます。どのようなごみが増えたのかを考えるとともに、海洋ごみの問題、解決のために自分たちにできることを考えます。

・実施時間が十分に取れない場合（60分前後）は、採取済みのプラスチック標本を使用します。

※①②いずれかのプログラムのほか、食品ロスや3R推進などのテーマについても実施可能です。

備考

・用意が必要なもの：プロジェクター、スクリーン

ブルーシート（ごみを持ち込むため。コロナ禍においては、学校での御用意をお願いします。）

使用済み歯ブラシ（自分の持ち物がリサイクルできることを知るため、各自持参してください。）

①の場合、学校周辺の地図

・最大30人程度（実施内容により要相談）

・実施の1か月前までにはお申し込みください。都合によりお受けできない場合があります。

団体紹介

特定非営利活動法人エコライフはままつ

浜松市のごみ減量を目的として活動しています。 URL [<https://ecolifehamamatsu.com/>]

お問い合わせは

浜松市教育委員会教育総務課まで 電話 053-457-2401